

第1回まちづくり推進町民会議を開催

まちづくりに意見要望

平成26年度第1回まちづくり推進町民会議(山崎晴一議長)が5月26日(月曜)15:00から、美深町役場大会議室において開催され、委員17人と町理事者、各課長等あわせて33人が出席しました。同会議は、町内各団体や自治会からの推薦委員、公募委員の30人で構成される住民組織です。会議では、町側から第5次総合計画の平成26年度実施計画や、第4次行政改革実績について説明。まちづくりに関する懇談では、委員から今後のまちづくりに関し、活発な意見が出されました。

会議の内容

- (1) 山崎晴一議長あいさつ
- (2) 山口町長あいさつ
- (3) 第5次総合計画平成25年度事業実績-①
- (4) 平成25年度行政改革実績について-②
- (5) 美深町広報等モニター結果について-③
- (6) 町からの情報提供
 - a 新エネルギーの取り組みについて -④
 - b 美深町こどもスポーツ未来基金について-⑤
- (6) まちづくりの推進についての懇談-⑥



会議の様子

① 第5次総合計画 平成26年度事業実施計画 計画 41億2,550万円

平成26年度における新規事業の概要や、予算措置状況などについて説明しました。

② 第4次行政改革推進計画に基づく平成25年度の推進状況

地域計画の策定状況、町ホームページのリニューアル、効率的な行政組織の構築、人事評価制度の研究状況など、計画に基づく推進状況について説明しました。

③ 美深町広報等モニター結果

モニター期間 H25. 8. 14~H25. 9. 30
H25. 12. 26~H26. 1. 31

回答率 31.7%

まちづくり推進町民会議の委員が行った、広報誌、美深町ホームページ、防災情報端末機に対する意見の状況を報告しました。

④ 新エネルギーの取り組みについて(産業施設課)

新エネルギー利用については、これまで導入に向けた準備等を進めてきましたが、今年度は木質バイオマスボイラ(びふか温泉)や太陽光発電(美深中学校)などの設備を導入し、本格的な利用に向けて事業を展開していきます。

26年度に行う次の4つの取り組みについて、具体定期に説明しました。

- ア びふか温泉への木質バイオマスボイラ導入
- イ 林地残材の安定供給体制づくり
- ウ 新エネルギーの複合的利用の検討
- エ 新エネルギーを通じた環境意識向上に向けた普及・啓発

⑤ 美深町こどもスポーツ未来基金について(教育委員会)

青少年のスポーツ活動の振興と健全育成に寄与するため、必要な基金を積み立て各種スポーツ活動への補助を目的とし、平成25年度創設されました。補助対象や基金の使途、25年度の利用実績について説明しました。

⑥まちづくりの推進についての懇談

<出席委員からの主な質疑・意見>

委員～宅配利用登録者49人となっているが、当初どのくらいの数字を考えたのか、それが多いか少ないかということ。それが非効率的な印象を受けたので、どのような利用登録者人数で、そして配達員はどこで待機しているのか。

事務局～ニューパブリック協議会でやっている宅配事業について、昨年から地域おこし協力隊2名に配達を担い1日2回買い物の宅配サービスを行っている。協議会の当初の想定では50人、昨年の末の登録49人はほぼ想定どおり。今年に入ってロコミなどで利用者が増え54人に。ただ、雪解け後は、自転車などの利用によって実利用件数は減りつつあるものの、冬の間は毎日配達があった。配達を行う2名のうち、1人は観光協会の仕事の手伝い、もう1人は役場の仕事の手伝いと地域おこし協力隊の市村先生の手伝いなどをしながら宅配を行っている。今年からは、新たに見守りの取り組みも入り、去年より忙しくなる。

委員～「資源を活かす活力に満ちた美深」について、皆さんは森林サポーターの会があるのはご存知か？二十数人の会員でさくらの木を植えたり、森林の整備をしたりなど具体的に動いている。会にはお金が全然無く、会員一人一人に千円ずつ徴収して少しでも活動資金にしてやっている。お願いですが、町からの支援がこの活動に少しでもあると活動が活発になり、5年後、10年後には素晴らしい山に生まれ変わるのではないかと思います。すべてボランティアでやっていますが、木を買ったり整備をしたりするにはお金がかかるので、可能であれば町の協力をお願いします。

町長～森林サポートに関しては大枠の話は分かっている。いろいろ新しい事業展開をしていくなかでは、限界があるとは思いますが、快適な森林空間の整備という課題とは別に、町としてはまちづくりの予算がありますから、そういうところでの相談があるとは思いますが、そういうところにも積極的に取り組んでいきたいと思っています。

委員～学校給食センター建設が進んでいるが、名称が民間の給食センターまぎらわしいので、名前を少し変えてほしい。

教育長～お話をするとき、学校給食センターを給食センターと言ってしまうので、誤解のないようにしていきたい。

委員～スキー場の花壇の状況について教えてください。

教育次長～スキー場の景観は昨年から事業を進めてきた。昨年、少し植えたが、強い雨が降って、表面がそうとう洗い流された。そこで、26年度は排水の処理に本格的に取り組み、来年以降の花を植える基礎づくりをする。エアリアルのアプローチ面は非常に難しいので、土を決めながら、花を咲かせるといふ非常に難しい課題を少し時間かけながら進めていく。いずれにしても、26年度は思ったように皆さんの目に見える成果は出ないが、もう1度きちんと計画を練り直して、今後何年間かけて整備をしていく。また、維持管理は大変なので、いろんな方に関わっていただける体制づくりも必要だと思っています。随時、いろんなことを町民の方にPRしながら事業の理解をしていただきながら進めていきたい。

委員～4日くらい前に、稚内方面からきた車が畑に入ってくるという、すごく危険な事故があった。その事故は、孫がスクールバスで帰ってくる時間帯に起こったので、孫が巻き込まれるのではないかと心配した。町では、しっかりと交通安全対策をして下さって助かっている。

町長～事故を起こすのは町外から来た人たちが多い。あちこちに信号機をつけてほしいなど意見がありますが、信号機をつけるのはすごくお金がかかるので難しい。

交通安全については引き続き気をつけるようにしていきたい。

